

コミュニティ・スクール通信

発行者：長松小学校運営協議会事務局（73-1163 文責：主幹教諭 泉 敬子）

2学期が始まりました。

唐津市に「新型コロナまん延防止等重点措置」が適用されたことで、8月25日（水）からの一斉登校日が中止、5日まで臨時休業となりました。唐津市の感染状況については心配しましたが、減少傾向に転じてきているということで、9月6日（月）には始業式を行いました。子ども達は、久しぶりに先生や友達と会えて、嬉しそうな表情でした。しかし、感染対策をこれまでより一層徹底していかなければならないということで、この日は少々緊張した表情も見られました。

学校では、感染防止対策を最優先し、教育活動を行います。学校での対策として次の事を徹底してまいります。

- ① 各玄関口に手指消毒ポンプを置き、消毒を徹底する。
- ② 児童机や職員室の机に飛沫防止ガードを立てる。
- ③ 外から帰ってきたときや、給食前に手洗いをする。
- ④ 給食は黙って食べる。
- ⑤ グループ活動をしない。（9月いっぱい）
- ⑥ 教室の換気を行う。
- ⑦ マスクをつける。
- ⑧ 歌唱指導を制限する。
- ⑨ 体育での、バスケットボールなどの接触が多い運動を制限する。
- ⑩ 休み時間には静かに過ごす。
- ⑪ 下校時刻を学年ごとに5分ずつ遅らせ、分散下校する。
- ⑫ 児童の下校後に机・椅子・蛇口等の消毒を行う
- ⑬ 歯磨きを飛沫防止ガードの中で行い、うがいをする際は蛇口を一つあけて行う。



日本善行会「春季特別表彰」を受賞

1学期終業式の前に日本善行会唐津支部 藤元 秀幸支部長と、本協議会会長の山口定雄会長より表彰状をいただきました。登校時のゴミ拾いに取り組んでいる全校活動を評価されての表彰です。

代表で6年生児童2名が表彰状と盾を受け取りました。表彰状を受け取った児童は、「細い道の溝にゴミが挟まっていたり、人目につかないところに落ちていたりする。この活動がずっと続いてほしい。」と話していました。表彰していただいたことで、これからの励みになった様子でした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、現在中止しています。今後は状況を見ながら11月から始める予定です。



※ 撮影のためにマスクを外しています。

全国学力・学習状況調査結果を分析しました。

5月27日(木)、6年生対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。調査内容は、国語・算数、そして学校生活や家庭生活の様子について問われる質問紙の3つです。8月末日、その結果が全国の学校に公表され、本校にも結果が送られてきました。

新聞でも取り上げられていましたが、佐賀県の正答率は、全国に比べ全科目平均を下回るという結果でした。さらに本校は、県平均よりわずかに下回っていました。私たち職員は、「このままではいけない」と、本校の課題と指導の手立てをさぐるため、全職員で分析作業を行いました。2学期が始まってからの1週間は午前中授業でしたので、児童が下校してからの時間を研修に充てました。その結果、次のような課題が浮き彫りとなりました。



【国語】

- ・条件を満たしながら要約して記述する問題の正答率が低い。
- ・既習の漢字を文章中で適切に使う力が必要。
- ・資料から必要な情報を選んで記述する力が必要。
- ・文章の構成（はじめ・中・終わり）と、文章の大体の意味をつかみ、読み取る力が必要。

【算数】

- ・図形の性質や、いろいろな角度からの見方を知らない。
- ・計算式や答えの意味がわかっていない。
- ・問題文が長くなればなるほど理解できていない。情報が多すぎて必要な条件を選ぶことができない。
- ・表やグラフの読み方だけでなく、その意味や活用力・分析力が必要。

そこで、発達段階に応じて学年ごとに考えた手立てが次のようなものです。

| | |
|-----|--|
| 一年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★国語・算数の授業の始めに、チャレンジタイムを設定し、小テストを行う。 ★条件作文の練習をする。(あのね日記・スキルタイム) |
| 二年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★にこにこプリント(国・算の宿題)の中に、基礎基本の繰り返し・読解力を付ける内容を取り入れる。 |
| 三年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★漢字は宿題や小テストで徹底して習熟させる。 ★キーワードや○文字以上という条件作文に書き慣れさせる。 |
| 四年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★漢字の宿題は、文章の中に熟語を入れたものを取り入れる。 ★大事な言葉をキーワードとして着目させ、文章をつなげる学習を取り入れる。 |
| 五年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★算数用語の意味付け、経験と学習の結び付けを意識した学習を授業に取り入れる。 ★例えば～を使った話し方で説明力を付ける。 |
| 六年生 | <ul style="list-style-type: none"> ★情報を整理しながら文章を要約する学習を授業に取り入れる。 ★スキルタイムなどを活用してゲーム感覚で読解力を高める活動を仕組む。 |

「全職員で本校児童の学力向上に努める」という姿勢で、2学期以降の授業を実施していきます。裏面の「質問紙回答結果からわかる本校児童の傾向」もぜひご覧ください。

児童質問紙回答結果からわかる長松小児童の傾向

全国・県の結果と比較すると・・・ (○:良い面 △:課題となる面)

- 質問(8) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている児童が多い。
- 質問(9) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しようとしている児童が多い。

- △ 質問(2) 毎日同じくらいの時間にあまり寝ていない児童が多い。
- △ 質問(3) 毎日同じくらいの時間に起きている児童が少ない。
- △ 質問(4) 携帯電話・スマートフォンを持っているが、「家庭で使用する際の約束」はない児童が多い。
- △ 質問(6) 「自分には良いところがある」と思っている児童が少ない。
- △ 質問(11) 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思う児童の割合は、若干少ない。
- △ 質問(12) 「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童の割合は、若干少ない。
- △ 質問(15) 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う児童は若干少ない。
- △ 質問(17) 家で自分で計画を立てて勉強している児童が少ない。
- △ 質問(19) 土日などの休みの日に1日あたり1時間以内か全く勉強をしないという児童が半数近い。
- △ 質問(21) 平日授業以外で読書時間が30分以下という児童が多い。
- △ 質問(23) 新聞を全く読まない割合が多い。
- △ 質問(32) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している児童の割合が少ない。
- △ 質問(37) 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている児童の割合は若干少ない。
- △ 質問(56) 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える児童の割合が若干少ない。(どちらかと言うとまで合わせて)

線を引いている部分は、家庭での過ごし方に関連がある内容です。

早寝早起きなどの生活習慣を整えることや、家庭での計画的な学習時間の確保等は、児童の学力の向上と密接に関係すると言われます。しかしながら、本校で毎月1日に実施しているノーメディアデーの結果においても、特に高学年にテレビやゲームに依存している様子がうかがわれます。

(右面をご覧ください)

ご家庭でも、ぜひお子様と話し合ってルールを決め、実行してみてください。